



記者発表資料	
平成29年5月12日	
担当課 (担当者)	都市企画課 (岡田)
電話 (内線)	20-3253 (2773)

『気高道の駅（仮称）』整備の基本設計を発表します！

全国の「道の駅」で、農業・観光・福祉・防災など、地域の特性を活かした様々な取組が行われ、「通過する道路利用者へのサービス提供の場」から、「地域の課題を解決する場」として、本市の既存の道の駅も地域の特性を活かした個性的な取り組みが行われています。

そのような中、本市では、平成26年度より、山陰道「鳥取西道路（浜村鹿野温泉IC（仮称））～青谷IC」の供用開始を見据え、鳥取市西地域の振興とまちづくりの拠点づくり、全市的な観光振興や交流人口の増加につながる『気高道の駅（仮称）整備事業』について検討を重ねてきました。

基本構想、基本計画を経て、この度『気高道の駅（仮称）』整備の基本設計をとりまとめましたのでお知らせします。（詳細は別紙気高道の駅（仮称）基本設計説明書による）

☆基本設計コンセプト

「癒しと温もりを感じるリラックスステーション」

道の駅を訪れる方々に、鳥取市西地域の豊かな地域資源、観光資源の魅力を感じていただくことで、癒し・温もりを提供するリラックスステーションとなるようこのコンセプトとしました。



イメージ図

◆気高道の駅（仮称）の主な特色

○道の駅から周辺の田園風景や山並みを望み、癒しを提供できる開放・快適空間

- ・ 周辺環境と一体化する明るく開放的な建物
- ・ 鷲峰山を望む景観や風を感じるレストラン

○農畜水産物の出来立て加工食品をその場で提供、和紙づくりなどの伝統産業の体験も可能

- ・ 新鮮な地元農産物や海産物等の直売、加工
- ・ 6次産業化を促進し体験可能な加工施設、チャレンジショップスペース

○周辺の自然環境に配慮した再生可能エネルギーの導入等による安全で安心な拠点づくり

- ・ 災害時の拠点となる防災設備
- ・ 地域燃料センターとなるガソリンスタンドを併設

○浜村・鹿野温泉により、癒し・温もり・健康を提供

- ・ 地域の温泉を活用した足湯

【事業概要】

- (1) 整備年度 平成28年度～平成30年度（完成予定時期 平成31年3月）
- (2) 総事業費 約18億9千7百万円
- (3) 整備位置 鳥取市鹿野町岡木地内（山陰道 鳥取西道路浜村鹿野温泉IC(仮称)付近）
- (4) 整備予定面積 約19,000㎡（駅舎部分 1,622.85㎡）
- (5) 整備施設概要
 - 駐車場 ◆小型車 119台（うち多目的3台、EV充電器1台）、RVパーク2台、大型車22台、二輪車15台
 - 駅舎 ◆体験加工室・地域交流室、農畜産・海産加工室、レストラン、物産販売コーナー、ファストフード、飲食コーナー、PC情報・案内所、コンビニなど◆情報・休憩コーナー、トイレブース（パウダールーム完備）
 - その他 ◆足湯◆エネルギー備蓄倉庫（木質バイオマス、非常用発電機、キュービクル）◆イベント・休憩スペース◆多機能用地（イベント広場や臨時駐車場、ドッグランや花畑などに活用）◆ガソリンスタンド

【事業スケジュール（今後の予定）】

- (1) 造成等実施設計 平成29年6月
- (2) 建築実施設計 平成29年6月～12月
- (3) 造成工事 平成29年8月～平成30年3月
- (4) 建築工事 平成30年6月～平成31年3月
- (5) オープン 平成31年4月

【今後の展望】

本事業は、高速道路ネットワークを活用した地域振興を図ろうと、鳥取西地域の経済団体等の住民が「道の駅」整備を念頭においた「地域振興ランドデザイン」を策定し、平成25年1月に鳥取市西商工会から本市に対して、新たな道の駅整備要望が提出されたものです。

気高道の駅（仮称）の整備により、道の駅が、「山陰道利用者の安全確保のための休憩施設」になるだけでなく、「鳥取市の西の玄関口」として、気高・鹿野・青谷地域の新たな拠点となります。

施設完成後は、既存の道の駅や観光施設との連携も視野に入れ、来訪者の増加、地域経済の活性化、まちづくりや定住促進などにもつながるような有効な活用策を検討していきます。

